





平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	塔野小学校 第3・4学年 107名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	ゴールボールに取り組むアスリート等の生き方から、夢をもつこと、あきらめないこと、努力することの大切さを実感する。
5 取組内容	<p>① 事前の学習で、オリンピック・パラリンピックについて知る活動を行った。また、「ゴールボール」の簡単な説明を行い、学習意欲をもたせるようにした。</p> <p>② パラリンピック ゴールボールのメダリスト小宮選手の話聞き、目が不自由なこと、努力すること、仲間と協力することの大切さを知る。また、目隠しをして、小宮選手とキャッチボールをすることを通して、目が不自由な人への対応の仕方等を学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③ 講師の小宮選手やビデオ視聴により、「ゴールボール」について知る。</p> 

	<p>④ 4年生全員で「ゴールボール」を体験する。</p>  <p>⑤ 事後の学習として、北九州市障がい者スポーツセンター「ゴールボール」用のボールを借用し、講話を聞いた3・4年生が再度、「ゴールボール」を体験することで、目が不自由な人の大変さを実感することができた。感想に「障害をもつ人に優しくしたい」などの記述が見られた。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>子ども達にパラリンピックへの理解を深めるとともに、障害があっても、夢をもち、努力することの大切さを学ぶことができた。</p> <p>また、障害のある人もない人も同じように生活するために、思いやりの心が大切であることを実感することができた。</p> <p>普段の生活でも友達や周りの人に対して思いやりの心をもって、生活する態度が見られるようになった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>4年生は総合的な学習の時間で取り組んでいる「障害をもつ人との関わり」と関連させて実践した。また、3年生は4年生の学習を見通すとともに、総合的な学習の時間の「多様な人々との関わり」と関連させて実践した。また、福岡県に住んでいるパラリストを招聘することで、自分の住んでいる県へのシビックプライドを高めるように説明を行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゴールボール」用のコートを準備する時間の確保が難しかった。</li> <li>・講師との連絡の取り方や講師料の支払いなどの手続きで課題を感じた。</li> <li>・対象学年を「総合的な学習の時間」の関係上、中学年で行ったができれば、全学年で体験できるとよかった。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>学年や内容によっては、実施したい。</p>